

みずほCustomer Desk Report 2018/11/16 号(As of 2018/11/15)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	113.67
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	113.56	1.1313	128.47	1.2987	0.7233
SYD-NY High	113.71	1.1363	129.04	1.3030	0.7298
SYD-NY Low	113.10	1.1271	127.78	1.2725	0.7229
NY 5:00 PM	113.62	1.1331	128.63	1.2775	0.7275
NY DOW	25,289.27	208.77	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,259.03	122.64	日本10年債	0.1100	0.00bp
S&P	2,730.20	28.62	米国2年債	2.8560	▲0.83bp
日経平均	21,803.62	▲42.86	米国5年債	2.9354	▲2.05bp
TOPIX	1,638.97	▲2.29	米国10年債	3.1094	▲1.65bp
シカゴ日経先物	21,950.00	130.00	独10年債	0.3580	▲3.90bp
ロンドンFT	7,038.01	4.22	英10年債	1.3675	▲13.80bp
DAX	11,353.67	▲58.86	豪10年債	2.7250	▲1.45bp
ハンセン指数	26,103.34	448.91	USDJPY 1M Vol	6.80	▲0.00%
上海総合	2,668.17	35.93	USDJPY 3M Vol	7.33	0.10%
NY金	1,215.00	4.90	USDJPY 6M Vol	7.75	0.08%
WTI	56.46	0.21	USDJPY 1M 25RR	-0.94	Yen Call Over
CRB指数	185.54	▲2.52	EURJPY 3M Vol	9.46	0.43%
ドルインデックス	97.07	0.27	EURJPY 6M Vol	9.62	0.27%

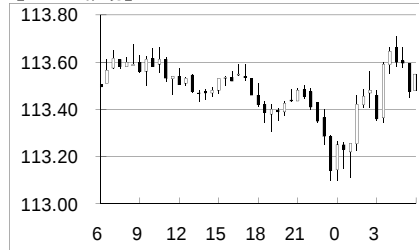
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月15日	09:30	豪雇用者数変化	10月 32.8k	20.0k
18:30	英	小売売上高(除く自動車燃料・前月比/前年比)	10月 -0.4%/2.7%	0.2%/3.4%
22:30	米	ニューヨーク連銀製造業景気指数	11月 23.3	20.0
22:30	米	フィラデルフィア連銀景況指数	11月 12.9	20.0
22:30	米	小売売上高(前月比)・速報	10月 0.8%	0.5%
22:30	米	新規失業保険申請件数	- 216k	213k

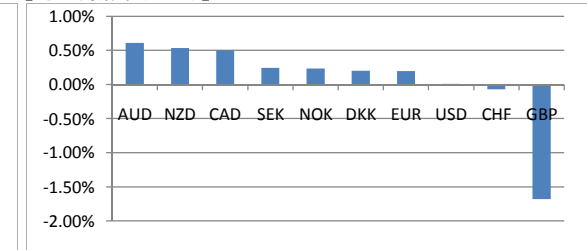
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月16日	17:30	欧ドラギECB総裁 記者会見	-	-
19:00	欧	CPI(前月比/前年比)	10月 0.2%/2.2%	0.5%/2.1%
23:15	米	鉱工業生産(前月比)	10月 0.2%	0.3%
11月17日	01:30	米エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.00-114.00	1.1260-1.1360	128.20-129.20

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円は113円台で行って来いの展開。英ラウプEU離脱担当相の辞任を受け、EU離脱を巡る英政局の混乱が嫌気され、一時113.10近辺まで下落。しかしその後は、米株式市場が反発したこと等もあり、ドル円は113円台半ばまで戻している。本日のドル円は113円台で方向感なく推移すると予想。昨日米国株の上昇を受け、東京時間もドル買いが進行する可能性がある一方、英国EU離脱を巡る不透明感も円の下支えとなるだろう。本日のドル円は113円台での揉み合いとなりそうだ。

東京	米ダラス連銀主催の討論会に参加したパウエルFRB議長の発言内容が報道されるも、ドル円の反応は限定的となるなか、東京時間のドル円は113.56レベルでスタート。欧州政治の先行き不透明感に対する懸念から上値の重さが目立つも、日中は材料に乏しいなか狭い値幅での推移となり、結局113.54レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は下落した。113.54レベルでオープン。米10年債につられ値を下げる中、英ラウプEU離脱担当相辞任が伝わりBrexit先行き不透明感からリスク回避ムードとなり円が買われ113.31まで値を下げた。その後、米10年債のイールドが上昇した事を背景に上昇するも、結局113.43レベルでNYへ渡った。ボンドも下落した。1.3017レベルでオープン。英ラウプEU離脱担当の「良心に照らして、合意の条件を支持する事は出来ない」との辞任表明に急落。ラフ氏はメイ英首相のEU離脱協定案が閣議了承を得たとの発表から24時間以内での辞任となった。その後10月英小売売上高指数結果が前月比0.4%減(予想0.2%増)となった事がさらに追い打ちをかけ、1.2751まで値を下げ、1.2776レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	英ラウプEU離脱担当相が辞任することが明らかになり、ボンド円が下落する動きにドル円は上値を重くし、113.31まで下落し、113.43レベルでNYオープン。NY朝方は、米11月NY連銀製造業景気指数が予想を上回る一方、11月フィラデルフィア連銀景況指数が予想を下回り、同時に発表された米10月小売売上高ヘッドラインが予想を上回るが、前回分が下方修正され、強弱混在の結果にドル円の反応は限定的となる。その後は、クロス円の売りが強まる展開にドル円は113.10まで下落。しかしNY正午前になると軟調に推移していたが横ばいまで買い戻されドル円も上昇に転じる。NY午後は株式市場がプラス圏まで上昇する展開に円売りが優勢となり、ドル円は113.71まで反発。NY終盤に掛けては狭いレンジでの推移が続き、113.62レベルでクロスした。一方、英ハートブレグジット懸念からボンド円が大きく下落する一方、ユーロボンドが急伸する動きにユーロドルの下落幅は小さく、1.1271まで下落し、1.1308レベルでNYオープン。NY朝方は比較的狭いレンジでの推移が続くが、軟調な株式市場が下落幅を縮小する動きを受けたユーロ円の買いにユーロドルもサポートされ、1.1340まで戻す。NY午後はメイ英首相が不信任を求める動きがあっても戦う意欲を見せたが、その後もゴープ英環境相が今晚辞任と英紙が報じたことからユーロボンドが上値を試す動きにユーロドルは下値をサポートされ、1.1363まで戻し、1.1331レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 濱・田家